# レッドウッドメンテナンス要領書（ケミカル）

## ダックバック木材保護塗料DB−1900シリーズ

ダックバック（浸透性顔料）木材保護塗料は木材に対して卓越した表面保護能力と、木目に美しさと深みを与えるプロ用の塗料です。さらにこの塗料は、屋外で使用され疲れきった木材の表面に再び木の美しさを取り戻す効果も持っています。ダックバックの成分はチャイナウッドオイル、亜麻仁油と高性能アルキド樹脂で構成されています。そして、下記の3つの特徴によって高性能塗料として支持されています。

①浸透性酸化顔料の使用

②紫外線吸収力

③有害な水銀を含まずに強力なカビ取り及び防止効果

これらの特徴により従来の木材塗料と比較して木目を生かした外観の仕上がりと耐久性を併せ持つという従来では矛盾していた条件をクリアすることができます。ダックバックの保護成分と顔料は、木部の内部に深く浸透し木の繊維を結合させ、水分の侵入を防ぐバリア層を形成します。強い日差しに含まれる紫外線もダックバックの紫外線吸収フィルター効果により保護されるため、紫外線からの表面劣化を防止することができます。ダックバックの顔料成分が、レッドウッド、シダーを含む針葉樹の木目をよりいっそう引き立て同時にその美しさを保護します。無垢材を使った住宅、ログホーム、木製サイディング、木製シングル、デッキ、手摺、露天風呂、東屋、その他屋外で木本来の美しさを楽しみながら耐久性が要求される場所がダックバックの必要な場所です。ダックバックは下記の種類の塗装色がお求め頂けます。

DB−1910　ナチュラル

DB−1904　センチュリーレッドウッド

DB−1905　ハートレッドウッド（赤みのあるレッドウッド色）

DB−1906　バレー（標準的な茶色）

DB−1907　キャニオン（深みのある茶色／くるみ色）

＜注意＞注意書きをよく読んでからご使用下さい。

ご使用の前に…木の種類、木目、使用される場所により仕上がりの色合いは異なります。
実際の塗装の前には、木片で仕上がりを確認することをおすすめします。

### 〈製品仕様〉

ダックバック1900シリーズ木材保護塗料・製品データブック

| | |
|---|---|
| 材料の種類 | 亜麻仁油/アルキド樹脂　桐油（チャイナウッドオイル） |
| 溶剤の種類 | ミネラルスピリッツ |
| 顔料の種類 | 酸化鉄系無機顔料 |
| 比重 | 0.84 |
| 塗膜になる樹種の割合 | 重量　30%　　容量　20% |
| 粘度 | 15秒/#2　ザーンカップ |
| 引火点 | 摂氏40度 |
| 沸点 | 摂氏152度〜206度 |

### 〈製品の特徴〉

●桐油（とうゆ）「チャイナウッドオイル」
桐油の持つ優れた特色の数々。その大きな特徴とは即乾性、塗装表面の硬度、塗装時の伸びの良さ、耐久性そして優れた耐水性があげられます。

●亜麻仁油とアルキド樹脂
塗料としては理想的なアルキド樹脂は、高耐久性をもたらします。この樹脂と桐油の組み合わせにより高性能木材保護塗料が開発できました。

●高品質酸化着色剤
高品質酸化着色剤は超微粒子金属です。この透明な超微粒子金属は酸化着色剤により染色され紫外線スクリーンの働きをし、手軽に化学薬品に対しても耐久性をつけることができます。そして、木の持つ自然の色合いと暖かさをいっそう引き立てます。

●カビ防止効果
ダックバック木材保護塗料には、木材の表面に付着する木材朽菌やカビの発生を防ぐ強力な殺菌成分が含まれています。この殺菌成分には有害な水銀は含まれていません。

●紫外線吸収効果
ダックバックには、紫外線吸収物質が含まれています。この効果は科学的に結束していた木の繊維が紫外線の放射により分解するのを防ぎます。この科学的な紫外線の吸収とは紫外線を無害な熱エネルギーに変換し、この熱交換作用は無数に発生し塗装の割れ、ヒビ、白化、退色、剥がれ等を防ぎます。

●溶剤
臭いのあるキシレンや発火性の溶剤は含まれていません。

## 〈塗装前の準備について〉

●新製品の木材の場合
塗装前に2週間は木材を乾燥させて下さい。含水率16%またはそれ以下をおすすめします。

●経年変化した木材の場合
表面をキレイに清掃し、カビなどの異物を取り除いて下さい。表面の状態にもよりますがスチーム洗浄またはサンドペーパー掛けを行って下さい。

●損傷の激しい木材の場合
損傷が激しいまたは経年変化の激しい木材の表面は灰色から黒く変色しています。このような場合はウッドブライトナーの使用をおすすめします。ウッドブライトナーは黒ずんだ木材の表面の色を再び元の色に戻してくれます。ウッドブライトナーの使用方法は、取扱説明書をご参照下さい。

## 〈塗装について〉

| | |
|---|---|
| 塗り方 | ダックバック木材保護塗料は、刷毛塗り、ローラー塗り、どぶ漬け等の方法でご使用になれます。 |
| 塗装時の気温 | 摂氏5℃～35℃の間でご使用になれます。 |
| 塗装回数 | 表面仕上がり、木目にもよりますが1回または2回です。<br>2回目の塗装は24時間養生をとったあとをおすすめします。 |
| 摂氏25℃時の乾燥時間 | 約2時間で触ることができます。<br>2回目以上の4～24時間の養生時間をとることをおすすめします。 |
| 希釈について | 必要ありません。もし必要であればミネラルスピリッツ（塗装用シンナー）をご使用下さい。 |
| 1リットル当りの塗装範囲 | ラフ（粗）　仕上がりの場合⇒3㎡～4㎡/1リットル<br>スムース（超）仕上がりの場合⇒5㎡～7㎡/1リットル（塗装方法、含水率により多少異なります） |
| 除去 | 塗装用シンナーをご使用下さい。 |

## 〈塗装時の注意事項〉

①気温摂氏5℃未満、35℃以上の場合は塗装しないで下さい。

②直射日光の下で塗装をしないで下さい。塗料の浸透を妨げ通常の乾燥となりません。

③塗装面での撹拌（かくはん）はしないで下さい。表面の乾燥が一定でなくなり、まだらや不均一な仕上がりとなる可能性があります。余分な塗料は必ずふき取って下さい。表面上に塗料が凝固する可能性があります。

④ペンキ、ニスで塗装した上からダックバックを塗らないで下さい。ペンキ、ニスはいったん全て除去した上でご使用下さい。

⑤塗装時の色目は、木目、樹種、目のつまり具合、塗り方により異なります。木片または見えない部分でテストしてから塗装して下さい。

⑥必要に応じて撹拌して下さい。

## 〈製品についての注意事項〉

●保存は冷暗所で行って下さい。　●ご使用後は容器を密閉して下さい。　●お子様の手の届かない場所に保管して下さい。

●飲まないで下さい。　●皮膚や目に直接触れないで下さい。

●ご使用の際には作業に適した服装で塗装して下さい。作業着、手袋、安全眼鏡、エプロン等を着用して下さい。

●ご使用の際には換気に十分注意して下さい。

●ふき取り布などはすすぎ洗いをして、金属製のバケツなどに水を入れて漬けておいて下さい。

●製品が衣服などに付着した場合は再び着る前に洗濯をして下さい。

●有機質系以外のものに付着した場合は水を張った金属容器に漬けておいて下さい。

●製品を使用する場所でタバコを吸わないで下さい。　●製品は熱源、花火、火炎から離れた場所で保管して下さい。

⚠＜注意＞この製品は衣服、布切れその他の有機質に触れると可燃性を持ちやすくなります。